

思い、やる、人。

浜田まさよし通信



NO.7

発行日:2006年12月25日 発行/公明党参議院比例区第8総支部



外務大臣政務官として初答弁をする浜田

9月27日浜田まさよしは安倍内閣発足にあたり、外務大臣政務官を拝命し、11月10日、衆議院外務委員会でも外務大臣政務官として初答弁をしました。

野党委員による、日本における核保有についての質問に対し浜田は「原子力基本法、NPT(核兵器不拡散条約)のことを考えれば、日本が核を保有する事はない」と強調。また、最近の核保有論議(国内で核保有について議論すること自体は必要と自民党幹部が発言)に違和感はないのか?との質問に対して「議論をすることがあるとするならば日本にとって核保有というものは政治的にも軍事的にも意味がないということを議論すること」と明確に非核三原則

平和・人権外交に全力



を堅持する姿勢を示しました。今後も平和を守る公明党議員、また外務大臣政務官として、党員・支持者の皆様のため、平和・人権外交に全力で邁進してまいります。

浜田、外務大臣政務官拝命！
非核三原則“決意”の初答弁！

7月10日 大阪府八尾市を視察



8月4日 愛知県名古屋市を視察



8月30日 神奈川県横浜市を視察

中小企業活性化対策本部視察

地域・企業が元気になるために

本年、浜田が事務局長を務める党中小企業活性化対策本部は大阪府、愛知県、神奈川県のものづくり企業や商店街らを視察しました。その中で浜田は23年間の経済産業省キャリアを活かし、地元企業、商店街らの現状を把握し中小企業の経営環境改善の要望を受けるなど本年も現場主義に徹しました。公明党はとりわけ、全国の企業の

大多数を占める中小企業に力を傾注する党。平成18年は4月に我が国製造業の国際競争力の強化及び新たな事業の創出を図ることを目的とした「中小ものづくり高度化法」や商店街の活性化を図る「まちづくり三法」など公明党がリードして法整備をしました。今後も元気で活力ある中小企業や商店街を目指し、全力で応援してまいります。

TOPICS



行田秘書・神奈川県
議会議員候補に公認

当事務所第二秘書、行田朝仁が明春の統一地方選挙において神奈川県議会議員候補(港北区選出)に公認が決定致しました。

浜田まさよし Profile

●昭和32年2月28日、大阪生まれ、横浜育ち ●横浜市立大綱中学、神奈川県立横浜翠嵐高校、京都大学工学部卒業 ●旧通商産業省(現在の経済産業省)に入省 ●在職中に、バリアフリー住宅の実現、化学物質対策の抜本強化、電子材料やバイオ技術の産業化など、数々の実績を重ね、平成15年6月、生物化学産業課長を最後に辞職 ●平成16年7月、参議院議員選挙初当選 ●現在 外務大臣政務官 <公明党>外交部 副部長、安全保障部 副部長、特殊法人等改革委員会 事務局長、中小企業活性化対策本部 事務局長





アンドレ・アマードブラジル大使より謝意を受ける浜田

在日ブラジル人学校、初の各種学校認定 子供の教育の機会に 国境はない

11月28日、浜田の働きかけによって、これまで私塾扱いとなっていたブラジル人学校に、初めて各種学校・準学校法人の認可がおりました。この日第一号となる認可を受けたのはエスコラ・ブラジレイラ・プロフェソル・カワセ（H・R・O学園・川瀬充弘学長）。この認可により来年度、固定資産税非課税措置や授業料の消費税の免除、定期券の学割、助成などの優遇が受けられることとなります。

現在、日本に在住するブラジル人は約30万人。就学対象児童は約3万人といわれています。このうち、ブラジル人学校に通う児童約5千人、公立学校に通う児童が約7千人。社会問題となっている約2万人の不就学児童の最大の原因となっている、高額な授業料が減額されることによって、教育を受ける機会がさらに広がることを期待します。

平成19年度から認可を受けるのはブラジル人学校全75校中3校であります。子供たちに教育の機会をひろげる大きな第一歩として、今後も更なる拡大を応援してまいります。



ブルンジ共和国ンクルンザ大統領と会談

「人間の安全保障」 実現に向け国連平和 構築委員会をリード

12月4日～10日、浜田は外務政務官としてコンゴ民主共和国とブルンジ共和国に公式訪問しました。

ブルンジ共和国は、国内紛争の後昨年民主的な選挙を実施し、新しい大統領が選出されたほか、昨年設立された国連の平和構築委員会において、初めての対象国に選出。

浜田は、コンゴ民主共和国の就任式に参加していたンクルンジザ・ブルンジ大統領とキンシャサで会談を行い、紛争を乗り越え、民主化努力を続けるブルンジ政府の取り組みを評価した上で、「紛争の再発防止の為に周辺国との協力とともに貧困、感染症、偏見等から市民を守る人間の安全保障が重要である」と述べました。ンクルンジザ大統領はブルンジの平和を構築する為には、ルワンダ、ウガンダ、コンゴ民主共和国等の地域周辺国と協力していく旨の決意を示した上で、人間の安全保障という考え方に賛同しつつ、平和構築を担う学校教育の必要性を指摘しました。

有意義な意見交換となったこの会談の内容を踏まえて、我が国が平和構築委員会等の場において有益な貢献をするべく取り組んでまいります。

耐震偽造問題解決へ前進 国民の安心・ 安全を迅速に

県本部で耐震偽造問題対策本部の本部長を務める浜田は、地元横浜市の偽造分譲マンション「コンアルマーディオ横濱鶴見」の物件について偽造発覚後、現地の視察や住民との懇談、市への働きかけ、県への申し入れ等を重ねる一方で粘り強く国と協議。

その結果、建替えのみならず補強についても助成の対象とすることとし、またその際の容積率の弾力的運用や平成19年3月末日までに決議を決定した場合、借住居家賃の助成期間を2年から3年6ヶ月以内への延長などで市や国と合意。「コンアルマーディオ横濱鶴見」はこの制度を利用し、保有水平耐力0.5未満の全国の偽造分譲マンションで初となる改修での解決へ向け、平成19年1月に耐震改修決議を締結する予定です。

窓口となった同マンション管理組合の横山富夫理事長は「浜田議員には昼夜に問わず、幾度となく要望を聞いていただいた。献身的な国や地方行政への働きかけによって解決への道が大きく開けた」と喜びの声をいただきました。



横山富夫理事長

孟中国文化部副部長と会談

日中友好の架け橋を、 さらに強固なものに

11月14日、中国より来日した中国文化部 孟曉四副部長（副大臣）らを中心に歓迎し、和やかに会談。浜田は「中国文化フェスティバル」の開催をお祝い申し上げるとともに、先般の日中首脳会談で決定した2007年国交正常化35周年に開催される「日中文化・スポーツ交流年」を通じて、国際交流を飛躍的に拡大することで合意しました。



中国文化部 孟曉四副部長と会談